

令和5年3月末の特殊詐欺発生状況について

- 1 3月中の発生状況
  - ・ 被害件数 5件
  - ・ 被害金額 約4,132万円
- 2 令和5年3月末の発生状況
  - ・ 被害件数 18件（前年同期比+4件）
  - ・ 被害金額 約5,445万円（前年同期比+約3,056万円）
  - ・ 手口別

区 分	令和5年3月末			令和4年3月末			対前年比	
	件数	うち未遂	被害額 (万円)	件数	うち未遂	被害額 (万円)	件数	被害額 (万円)
<b>特 殊 詐 欺</b>	18	0	5,445	14	2	2,388	4	3,056
オレオレ詐欺	1		105				1	105
預貯金詐欺	2		219				2	219
架空料金請求詐欺	10		788	11	2	2,196	-1	-1,408
還付金詐欺	1		100	3		193	-2	-93
融資保証金詐欺	1		25				1	25
金融商品詐欺	1		3,710				1	3,710
ギャンブル詐欺	1		499				1	499
交際あっせん詐欺							0	0
その他の特殊詐欺							0	0
キャッシュカード詐欺盗	1						1	0

※ 金額は一万円未満を四捨五入して表記しており、内訳と合計の数値が異なる場合があります。

・ 年代別

被害者の年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代 (65歳未満)	60代 (65歳以上)	70代	80代
人数			1	2	1	1	2	6	5

※ 高齢者率 72.2%

・ 男女別 男性8人、女性10人

- 3 被害の傾向
 

3月中に認知した被害は5件で、金融商品詐欺、預貯金詐欺、架空料金請求詐欺の被害が発生しました。

<金融商品詐欺>  
インターネットで見つけた投資のサイトに登録したところ、イギリス人男性を名乗る者から投資話を持ちかけられ、指定する口座にお金を振り込み。  
その後も取引株の売買に関する電話があり、相手の言うとおりに売買したところ、口座に振込があったことで相手を信用し、その後言われるがまま投資名目でお金を振り込んだもの。

<預貯金詐欺>

いずれも「市役所保険課」を名乗る者から保険料の還付の電話を発端として、金融機関の職員を名乗る者が自宅を訪れて「キャッシュカードが古くなっているので、新しい物に交換する必要がある」などと言ってキャッシュカードを詐取するもの。

<架空料金請求詐欺>

・パソコンでインターネットを閲覧中に、突然画面に「ウイルスに感染した」というメッセージが表示され、表示された電話番号に電話したところ、「パソコンの60%がウイルスにおかされている。対処するので電子マネーを購入してIDを教えて欲しい」と言われ、言われるがままコンビニエンスストアで電子マネーを購入してIDを伝えたもの。  
・携帯電話のSMSに「利用料金の事で話したいことがあるので、本日中に連絡を下さい。」とのメッセージが届き、被害者が連絡をしたところ、大手通信関連業者を名乗る者が「サイトの契約料金が発生している。」「日本個人データ保護協会で保護すると返金されるので、一旦ATMでお金を振り込んで欲しい。」などと言われてATMでお金を振り込み、その後も「他のサイトに登録されていることが判明した。」などと言われて指示されるままにATMでお金を振り込んだもの。

4 令和5年3月末の「声掛け」等による被害の未然防止状況

- ・ 未然防止件数 14件（前年同期比－5件）
- ・ 未然防止金額 約260万円（前年同期比＋約58万円）
- ・ 未然防止率（阻止率） 43.8%

銀行		郵便局		配送業者		コンビニ		その他	
件数 (件)	金額 (万円)	件数 (件)	金額 (万円)	件数 (件)	金額 (万円)	件数 (件)	金額 (万円)	件数 (件)	金額 (万円)
2	100					10	130	2	30

※ 金額は一万円未満を四捨五入して表記しており、内訳と合計の数値が異なる場合があります。